

LE COUVENT

MAISON DE PARFUM

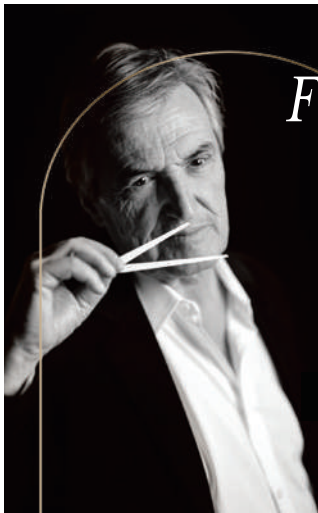


SIGNATURE COLLECTION
BY JEAN-CLAUDE ELLENA

My Signature perfumes

冬の終わりから秋の到来まで、移り行く季節の中で、私は庭に咲く花々の香りに「耳を傾ける」時間を楽しんでいます。それは、その香りに注目するのではなく、また、その香りがなんであるかというわけではなく、その香りが私に何を語るか、その香りから何が聞こえてくるのかという事です。人との時間を大切にするには、耳を傾けること以外に勝る方法はありません。

面白いことに、イタリア語で“to listen(聞く)”を意味する動詞“sentire”は、フランス語で“to smell(嗅ぐ)”を意味する“sentir”を連想させるのです。



オルファクティブディレクタージャン＝クロード・エレナより

Foreword

2019年以來、私はルクヴァンメゾン パルファムにおける「ボタニカルコレクション」、「シンギュラーオーデパルファム」、「リマーカブルパルファム」を監修してきました。これら3つのコレクションはそれぞれ個性があります。シンプルなものからより洗練されたもの、フレッシュなものから濃厚なもの、さりげないものから魅惑的なものまでと様々です。これらのコレクションを監修する際、私が心掛けたことは、詩人ルネ・シャールの言葉に要約されます——「少しの驚きと、少しの反抗心、そして少しの親切心を広めること」。

私は調香師にそれぞれの個性を表現する機会を与え、みなさまに比類なき香りをお届けできるようなコレクションが好ましいと考えています。このようにして香水を作ると、コンビネーションやブレンド、さらには香調の交わりを作り出すことができるのです。ここで絶対に守らなければならないものがあります。それは、明確なアイデンティティや個性が失われることを防ぐため、一度に2種類以上の香水を組み合わせないことです。また、若手からそれなりに経験のある調香師たちと一緒に仕事をする機会に恵まれたことは大変魅力的でした。調香師同士、お穏やかながらも、集中しかつ直接的な方法でアイデアを共有するために、天然素材を使って、少しの反抗心と寛大さ、少しの驚きとやさしさをもって創造性を発揮することを唯一の目的としていました。この目的を達成するために、私は、調香師それぞれの個性や完成、好みを引き出そうとしました。

他者を先導していくためには、その人の話に耳を傾けることは非常に重要ですが、香水を構築するにあたっては別のアプローチも必要です。

香水を作る者からするとクリエイティブなプロセスとは、ある種の利己的な行為であると考えます。——私自身をさらにさらけ出していく、という違う種類の欲望があるからです。独創的なコレクションを通して私自身を露わにしていくことに対する欲望こそが、私を駆り立てます。この欲望を、みなさまと共有したい——その結果生まれたのが、このシグネチャーコレクションです。

La Collection Signature

今回、私は複雑なものからスタートし、それを紐解いていくことでタイムレスな香りを導くというクラシックなアプローチをとりました。今回の新しいコレクションにおける私の目的は新しく美しい道を見つけることにありました。私がまた駆け出しの調香師だったころは、天然香料よりも合成香料に興味を持っていました。なぜなら天然香料は、複雑性が大胆すぎてイマジネーションの余地が残されていないように感じたからです。イマジネーションは、少しの余白があってこそ生まれるものですから。天然香料のオレンジの香りはオレンジの香りではなく、同じように、アンジェリカはアンジェリカ、バラはバラとして完結するのに対し、合成香料はそれ自体の主張がほとんどないため、簡単に扱って私の主張を届けることが容易にできたのです。香りを抽象化することは簡単にできましたが、私の目標はそれよりもっと高度な技術の習得でしたから、ローズは、2つの分子、ジャスミンは4つの分子、というように自分の鼻を使って技に磨きをかけることに喜びを感じていました。

そして今日、一角の調香師として私自身の作品を作っていく中で、忘れていた喜びを再発見することができたのです。それは天然素材を使って香りを作ることにける喜びです。今までも天然素材を完全におろそかにしていたわけではありませんが、実際に作業をしていく中で、天然素材を扱っていくと、それらは私が覆い隠していた概念から解放され、ありのままでありながら複雑でエレガントかつ洗練されたものとして現れました。

それ以来、私は天然素材を用いること、天然素材同士に新しいつながりを作り出すこと、そして改めて天然素材を私の作品の中心に据えたことに対する、湧き上がる喜びを実感しています。素材と距離を置きすぎると、その素材の良いところを忘れてしまいがちです。ですが同時に、近すぎると、今度はその欠点に目がいきがちになるものです。こと香りの話になると、遠すぎず近すぎずといったちょうどよい距離感を見つけるまでに多くの時間を要します。

素材を見直しながら……時間を見つめ直しながら……

それが、シグネチャーコレクションへのアプローチであり、その根底にあるのは、素材の良さを引き出すことを熟知した職人と作品に想像力を与えるアーティストのクラフトマンシップです。



LE COUVENT

MAISON DE PARFUM

ジャン＝クロード・エレナが自ら調香を手掛けたコレクション「シグネチャー」から
スパイシーなマリンウOODの香りの新フレグランス登場

PARFUM SIGNATURE VETIVERA

シグネチャー ベチバー

発売日：2022年11月4日(金)

100mL / 23,760円 | 10mL / 4,180円

<オーデパルファム>

香料含有濃度 20%

自然由来原料比率 89%*

香料含有濃度 20%

100%ヴィーガン

フランス・ガラス製



ベチバー VETIVERA



スパイシーなマリンウOOD

潮風に運ばれてくるのは、ベチバーの無意識の欲望、それはまさに誘惑の媚薬です。ベチバーと言うだけで、すぐにメンズフレグランスだととらえられますが、答えは「ノー」です。香りに性別があるのは、香水の世界の誤解なのです。ベチバーは幹や枝からではなく、根から抽出されます。また、文化によっては惚れ薬に使われるのです。この「ベチバー」には、スパイスの香り、海や潮の香りを合わせました。海は文化によって、女性的とも男性的とも例えられるためです。

J. C. Ellena

トップ：ベルガモット（イタリア産）

ミドル：ベチバー（ハイチ産）& ブラックペッパー（マダガスカル産）

ベース：シダーウOOD（アメリカ産）

<主な天然香料>

ベチバー：主に熱帯地方に生育する植物。重厚で高貴な香りが特徴です。フレッシュでありながら温かみのある香りは、香水に独特の個性と深みを添えてくれます。肌の上で躍動するような、ウッディで野生的な力強さ。ハイチ産ベチバーにはさらにしっとりとした独特の香りがあります。

ブラックペッパー：香水の世界では欠かせない成分です。コショウのエッセンシャルオイルは、果実を乾燥させ、粉にしてから水蒸気蒸留で抽出します。スパイシー温かみがあり、時には軽やかさも 있습니다。オリエンタル系やウッディ系のフレグランスで、グリーンを感じさせるシャープなノートが徐々に香り立ち、香水に力強さと個性をもたらします。

LE COUVENT

MAISON DE PARFUM

チュベローザ TUBEROSA



魅惑的なグルマンフローラル

ある秋のこと、私は香りを楽しめるようにとチュベローズを鉢に植えました。そして、その翌年、夏が到来しました。チュベローズのエクストラクトは、豊潤で圧倒されますが、私の心を動かすほどではありませんでした。それは時を止めた静止画のようなものであり、概要でしかありません。一方で本来の花の香りというのは、もっと何か、全く別物なのです。——それは、夜8時頃に香り立つものであり、あるいはその1時間後に舞うものかもしれません、それは突然におこるもので、驚くべきものです。

チュベローズの花は毎日同じ時間にピーチのようなフルーティな香りを放ちます。そして、ムスクのように甘く包み込むような香りへと変化し、さらにスパシーなまるでクローブとナツメグの間のような香りへと姿を変えます。徐々にバニラとヘリオトロープの香りが出てかわり、深夜に向かうにつれ香りはゆっくりと弱まっていくのです。このような香りの変化こそが香水の起源なのです。

L. C. Ellina

ミドル：チュベローズ アブソリュート（インド産）
ベース：サンダルウッド（オーストラリア産）

ミモザ MIMOSA



まばゆいパウダリーフローラル

1951年のこと、アルベール・カミュはカブリに滞在していました。彼は、プロヴァンスにある小さなこの村に何度も足を運び、地中海の素晴らしいパノラマビューや、2月に丘を埋め尽くすミモザの花々を満喫していました。友人たちが彼のもとを訪れた際、カミュは、彼の愛人であったマリア・カザレスに宛てた手紙を書きます——”私は友人たちを、マシフ・デ・モールの反対側に位置する、タネロンに連れて行きました。その日は、晴れた空がどこまでも続き、風が強い一日でした。このルートはミモザの重みでたるんだように見える斜面を横切りながら、空に向かって大パノラマを楽しむことができます。家に戻る頃には私の目の前を黄色いドットが舞い、私の身体中を光が渦巻くを感じたのです。”*

私はここで描写されている場所を何度か実際に歩いたことがあります。「ミモザ」とともに、彼が手紙では言及していない要素、つまり、風に乗ってカブリの村中を舞うような、甘く、シルキーで、繊細な香りを再現したかったのです。

L. C. Ellina

トップ：ベルガモット（イタリア産）
ミドル：ミモザ アブソリュート（モロッコ産）
ベース：シダーウッド（アメリカ産）

* “Correspondance 1944-1959”（2018年）がリマール出版社より引用

LE COUVENT

MAISON DE PARFUM

アンブラ AMBRA



包み込むようなスパイシーアンバー

アンバーは石のような堅い樹脂であり、そこから香りを抽出すると思われるかもしれませんが、実はまったく違います！確かに、アンバーは化石化した樹脂ですが、この美しい黄金色の石自身には香りはありません。ネックレスやブレスレット、杖の柄を彩るのがその役割です。——時に、ホラー映画では昆虫が閉じ込められたアンバーが登場して、娘が幼いときには泣いてしまうこともあったのですが。調香師が使用するアンバーは2つの素材、バニラとそして樹脂であるラブダナムを組み合わせたものです。このフェミニンでマスキュリンな組み合わせの発案者は、いまだに謎に包まれています。ですがいずれにせよ、彼なのか彼女なのか今日の「オリエンタル フレグランス」の基礎を作った人物といえます。

今回私はこの魔法の組み合わせに、地中海のストローフラワー、トンカ、そしてイタリア、カラブリアのベルガモットといった重要で希少な素材をわずか匂わせるようにして加えてアンブラを仕上げました。

L. C. Ellena

トップ：ベルガモット（イタリア産）
ミドル：セントジョンフラワー アブソリュート
（フランス・コルシカ産）
ベース：ラブダナム（スペイン産）



LE COUVENT

MAISON DE PARFUM

La Collection Signature

シグネチャー コレクション — 創造性を極めた秀逸なコレクション —

世界的に著名な調香師、ジャン=クロード・エレナが自ら調香を手掛けたパルファム。
希少な植物のエッセンスを芸術的かつシンプルにミックスしたユニークなフレグランスコレクション。

- NEW -



チュベローザ
TUBEROSA

チュベローズ アブソリュート
& サンドルウッド



ミモザ
MIMOSA

ミモザ アブソリュート
& シダーウッド



アンブラ
AMBRA

セントジョンフラワー アブソリュート
& ラブダナム



ベチバー
VETIVERA

ベチバー
& ブラックペッパー

最大 89% の自然由来原料比率 — 香料含有濃度最大 20% — 100%ヴィーガン — フランス製

100mL / 23,760 円 | 10mL / 4,180 円

価格は税込です



LE COUVENT

MAISON DE PARFUM

<ルクヴオンメゾン パルファム>とは ヴィーガンは新しい贅沢という価値観を育み、進化するメゾンフレグランス

2019年に世界的に著名な調香師、ジャン=クロード・エレナをオルファクティブディレクターに迎え、本物のナチュラルリティにこだわり、洗練された香りを創造しています。ブランド名は、フランスにおける植物学（ボタニカル）の礎が築かれたミニム修道院（クヴォン・デ・ミニム）に由来。

2022年現在、世界36ヶ国、日本では、約90店舗で展開しています。

全製品100%ヴィーガン・ジェンダーフリー。

ボタニカルの出発点、ミニム修道院とルイ・フイエ

1614年、南仏プロヴァンスに建立されたミニム修道院は、400年もの長い歴史の中でボタニカルの知識が継承されてきた特別な場所です。そのミニムの修道士ルイ・フイエは、ルイ14世に任命され、植物学者として世界各地を旅して、当時知られざる新種の植物の情報を収集し、3冊の植物図鑑にまとめ、王に献上。

フランスにおける植物学の礎を築きました。ルイ・フイエの世界各地への冒険あふれる旅と植物学における彼の功績を称えて、ブランドは誕生しました。

ジャン=クロード・エレナ監修

世界的に著名な調香師、ジャン=クロード・エレナは、プレステージフレグランス界で50年以上も活躍してきました。ラグジュアリーブランドの専属調香師を経て、2019年にオルファクティブディレクターに就任しました。

ブランドのDNAである、希少で高貴な天然素材を使うこだわりが、エレナの創造性を掻き立てます。

植物原料の個性を最大限に引き出し、シンプルで飾らない、どこまでもピュアな香りを作ります。

ヴィーガンという新しい贅沢 VEGAN IS THE NEW LUXURY

動物と植物に敬意を払い、天然素材にこだわりをもつこと、それこそが「新しい贅沢」と考えます。

これまでの「高価なもの=贅沢」という概念を打ち破り、新しい価値を創造します。

100% ヴィーガン

植物学（ボタニカル）を礎に創業したブランドの哲学は、動物や自然に敬意を表します。全製品、英国のThe Vegan Society(ヴィーガン協会)による認証を取得。

CLEAN BEAUTY

環境や肌への配慮のもと、硫酸塩、パラベン、シリコンなど、安全性が議論されるような添加物は使用していません。問題視されている50以上の成分を処方から排除。

NATURE FIRST

最大99%の自然由来成分。ISO16128の自然由来原料の定義に基づき算出。

GREEN FUTURE

持続可能な森林資源を守るために、紙箱はFSC認証紙を使用。

<クレジット表記>

ルクヴオンメゾン パルファム [略称 | ルクヴオン]

MAIL customer.lc@kinds.co.jp URL lecouventparfums.jp

<お問い合わせ先>

カインズ株式会社化粧品事業部

TEL:03-6731-9348 FAX:03-5479-7335 MAIL pr@kinds.co.jp